

「図書館への期待」

～患者・家族が病気と治療について学ぶために～

第23回医学情報サービス研究大会

2006年7月16日

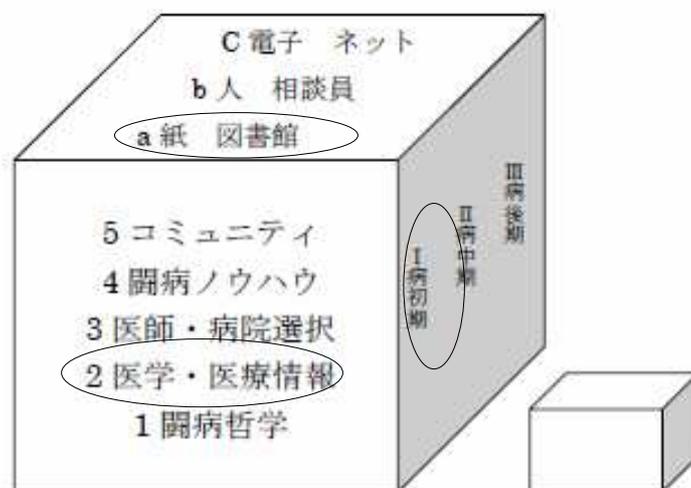
東京大学医療政策人材養成講座 特任助教授

医療ジャーナリスト

骨髄移植推進財団元事務局長

埴岡 健一 IZN01203@nifty.com

闘病関連情報と図書館の位置



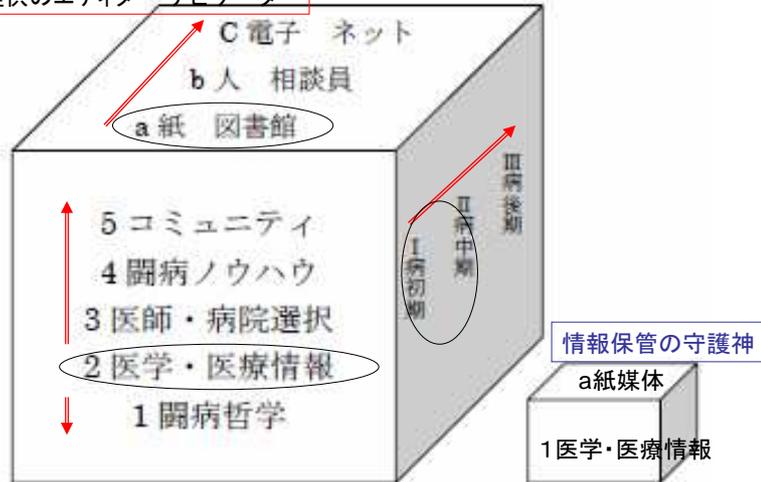
2006/7/16

図書館への期待

2

闘病関連情報と図書館の位置

情報提供のエディター・ナビゲーター



2006/7/16

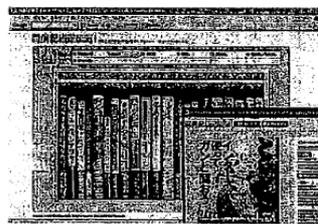
図書館への期待

3

闘病記700冊 簡単に検索

国立情報学研究所
市民団体

ネットで疾患別紹介



ライブラリーは国立情報学研究所(東京・千代田)の高野明彦教授と、図書館などに闘病記出版の取組を手助けしている市民団体「闘病情報ネットワーク」(代表 志村 代表)が協力して作成した。ホームページは <http://toyokokinfo.jp> のホームページでは単一の本の情報が分かる。

患者やその家族の体験をまとめた闘病記を探し出せる「闘病記ライブラリー」が11日、インターネットで公開された。「がん」など10冊を探索型に分類、本の表紙や目次を画像として表示され、内容を把握できる。昨年から公立図書館や病院で「闘病記文庫」を閲覧する施設が増えているが、専用の文庫がない図書館でも闘病記を見つやすくなる。

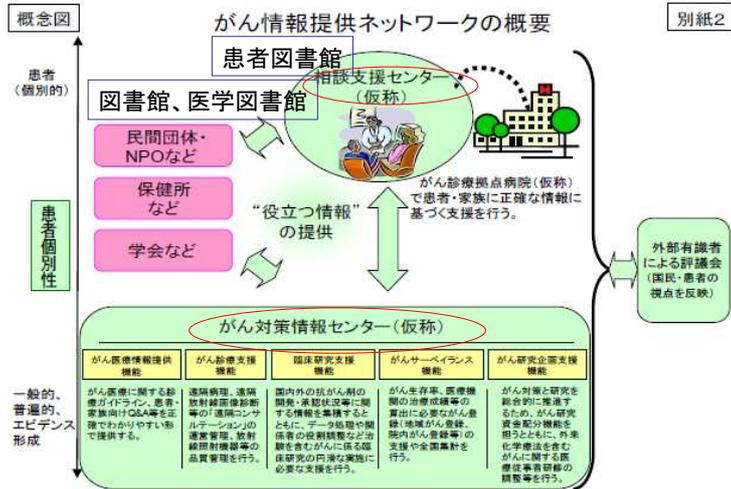
2006/7/16

図書館への期待

4

がん領域における患者さんへの情報提供の1モデル

がん対策情報センター



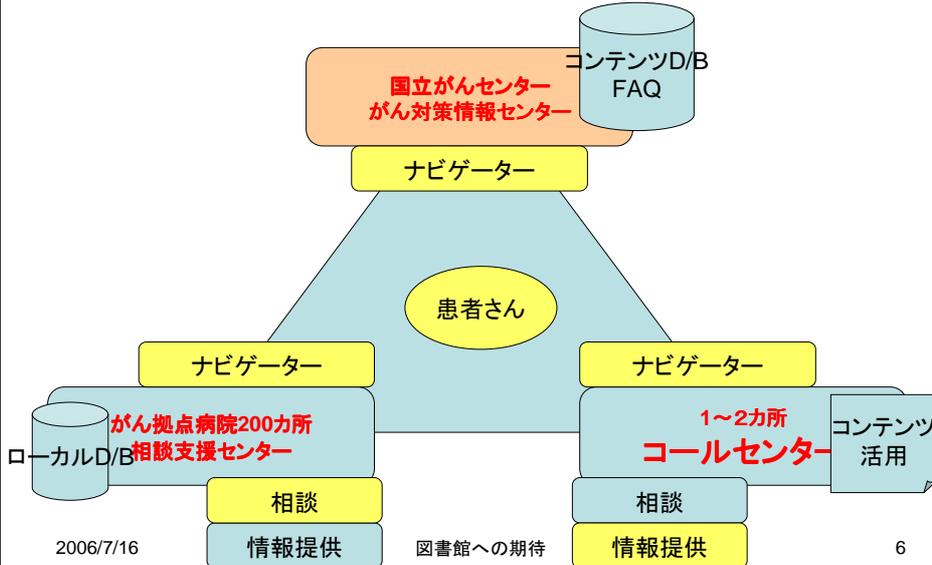
2006/7/16

図書館への期待

5

がん領域でのモデル

3角形の提供装置



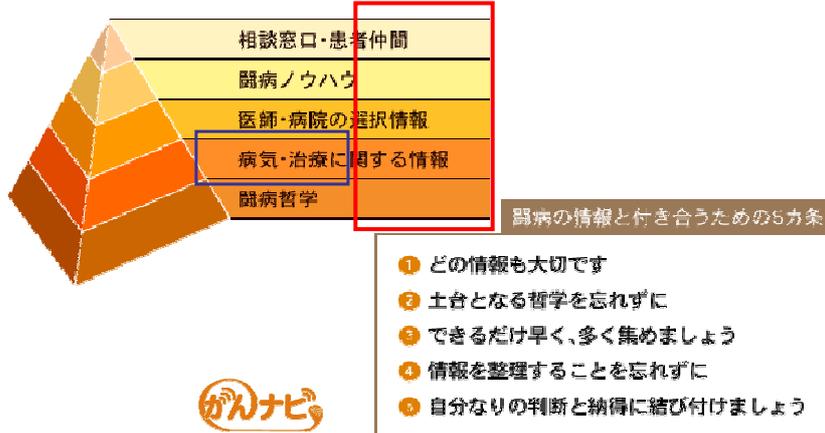
2006/7/16

図書館への期待

6

ポイント:情報の5分類

図3 情報の5分類とその活用法



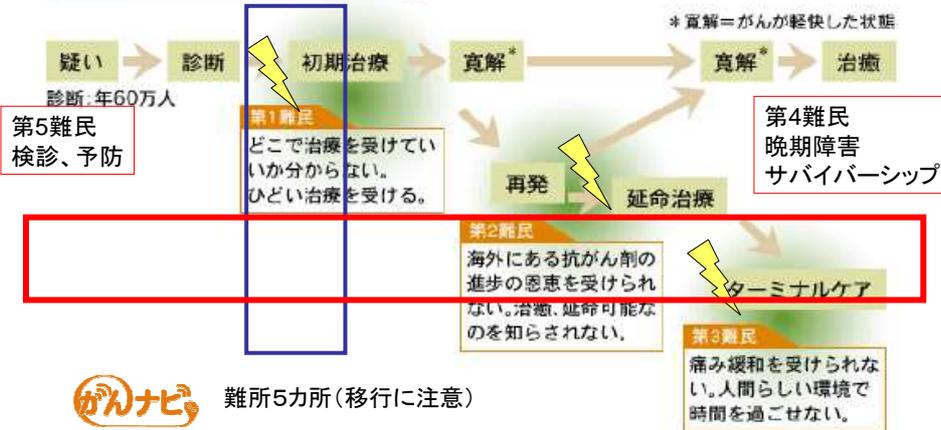
2006/7/16

図書館への期待

7

ポイント:ライフコースに沿って

図1 がん難民マップ



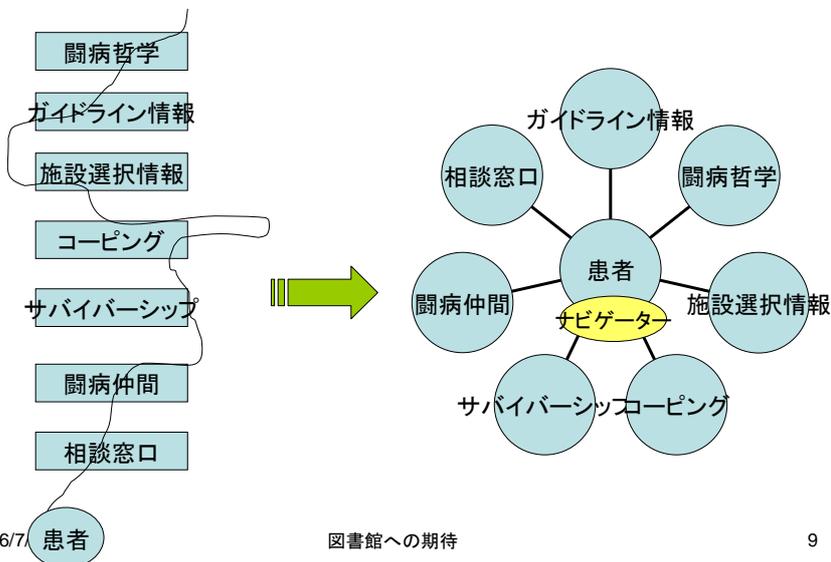
難所5カ所 (移行に注意)

2006/7/16

図書館への期待

8

ポイント:ワンストップ



患者・情報・サポーター

- コンテンツを蓄積し、分かり易く提供すること
- 患者さんが自分で情報を得られる力を高めること
- 情報取得を助けること⇒ナビゲーター

ナビゲーター



2006/7/16

図書館への期待

11

ナビゲーターとは

- HP: 情報提供 患者の疾病・ステージ・状況別に疾病、コーピング・サバイバーシップ情報を提供
- 病院相談窓口: ナビゲーター役
- コールセンター: 初歩回答と振り分け役
- 民間・ボランティア相談員の養成
- etc.
- ⇒「認定情報ナビゲーター」制度の創設を！

2006/7/16

図書館への期待

12

認定情報ナビゲーター制度

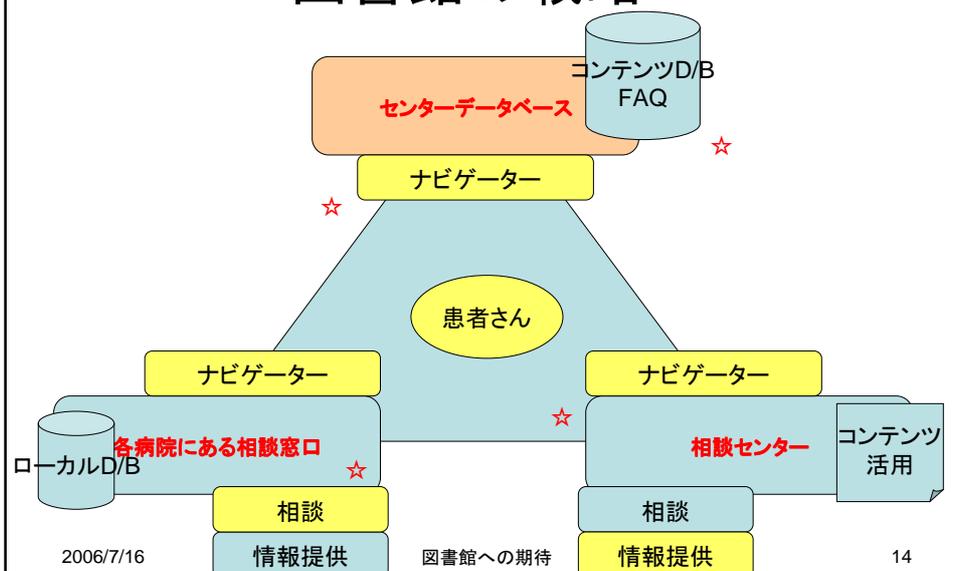
- ナビゲーターA 情報の発見と提供
- ナビゲーターB 傾聴して問題の自己発見をサポート
- ナビゲーターC アドバイスを提供

2006/7/16

図書館への期待

13

図書館の戦略1



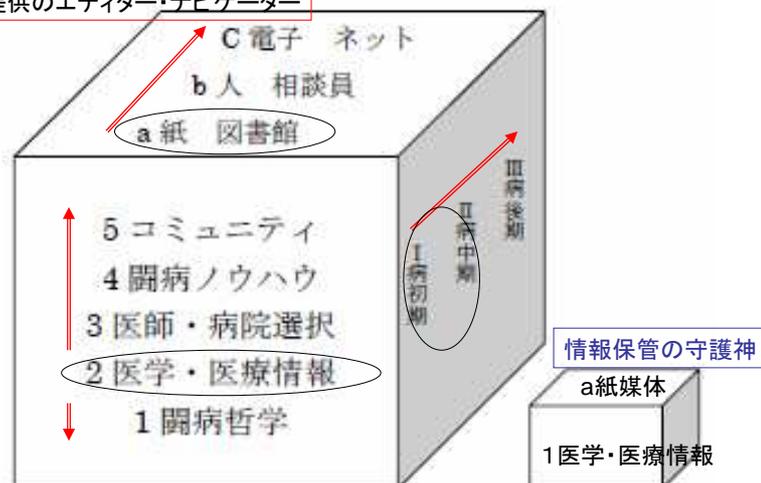
2006/7/16

図書館への期待

14

闘病関連情報と図書館の位置

情報提供のエディター・ナビゲーター



2006/7/16

図書館への期待

15

考えられるメニュー

- 闘病哲学⇒闘病記文庫！・・・
- 医学情報⇒医中誌検索提供、PubMed検索提供、医師向け学習誌、共通情報収集ガイド作成・・・
- 医療選択情報⇒参考サイト集、参考本コーナー、共通情報収集ガイド作成・・・
- 闘病ノウハウ⇒参考サイト集、参考本コーナー、共通情報収集ガイド作成・・・
- コミュニティ⇒地元病院、行政、患者会と協力して各種リスト作成、提供・・・
- 全般⇒各種ガイド・リストの作成提供・・・
- 流通補助⇒三角形装置のコンテンツの流通促進(冊子の収集・配布)・・・

2006/7/16

図書館への期待

16